

**■ 交付金の使い勝手について**

1. 報酬・賃金の取扱を明確にしてほしい
2. 役員等の負担軽減と次の担い手確保のためにも必要最低限の実費弁償として報酬を認めてほしい（6組織）
3. 市の行事である敬老会を地域で開催事も視野にいれているのであれば、アルコール1缶程度であれば、認めてほしい
4. 視察等において、市のバスを利用したい
5. 自主財源を作らないと、対象外経費が出たとき対応できない
6. 備品購入費は上限額があるが、内容等において市と協議して20万円以上のものも対応してほしい。
7. 交際費のうち、役員の慶弔費を対象としてほしい

**■ 予算残を繰越金とする事について**

1. 単年度決算とするべき  
（基本的には全組織）
2. 継続的な事業活動の場合は一定基準の繰越を認めて欲しい
3. 次年度の交付金入金が4月下旬となるため、繰越を認めてもらい、次年度の交付金から差し引いてもらいたい
4. 意見  
自主財源の確保のために、収益事業を展開し、交付金事業と収益事業を明確にする事で、組織の財源確保となる  
協働組織間で検討していくべき